

第35回ISM - ケルン国際菓子専門見本市

2005年1月30日(日)~2月2日(水)
ドイツ連邦共和国 ケルン・メッセ会場

- ファイナル・レポート -

ISM2005 : 自信溢れる菓子業界

大成功を収めたパッケージ展　すでに新しい見本市「プロ・スイート」への参加表明集まる

ケルンで開催された第35回ISM(国際菓子見本市)は、出展者、来場者および主催者にとり非常に満足のいく見本市となりました。これまでのラインホールからイーストホールに移り、ISMは新しい装いで開催されました。このイーストホールはエントランスゾーンを始め陽光が差し込むアーケードなど、明るく軽やかな雰囲気を作り出し、見本市会場全体の気分を盛り上げる効果を発揮しました。今回、会場ホールが新しくなったとはいえ、来場者に分かりやすいホールレイアウトに変わりはなく、そのため来場者の行き来は会場の至る所で常に活発に行われていました。

今年のISMには140ヵ国から約34,000人のビジターが訪れ、前年に比べ約2%増となりました。特にドイツ人ビジターが増加しました。ケルン・メッセのクラutz副社長は、「会場が変わったことで、ISMのみならず、菓子業界も自らのイメージを新たにアピールすることが出来ました。つまり、モダン、イノベティブ、そして競争力に満ちた姿を新たに見せることができ、そしてこうしたアピールがバイヤーサイドにしっかりと届いたのです」と満足した結果を得られたとのコメントを残しています。また、今年の外国人ビジターの割合は約60%となり、近年同様非常に高い安定した数字となりました。特に、ヨーロッパ隣国の他に、東欧、北米およびアジアからのビジターが目立ちました。

出展企業やビジターの間では、会期初日には、まだ新しいホールやホールレイアウトが話題の中心となっていました。翌日曜日の昼までには会場の雰囲気はビジネス一色となりました。ドイツ国内および国外から今年も数多くのトップバイヤーがISMを訪れ、情報入手や商談に余念がありませんでした。出展企業からは一様に満足行く商談ができたとの声が聞かれ、見本市終了後のオーダーに一層の期待をかけているようでした。また、「ISMが業界にとって最も重要なビジネスステージであることが改めて分かった」と答えていた出展企業もいました。

出展企業の中には斬新なブースコンセプトで注目を浴びている企業もありました。また共同出展ブースのなかでもモダンなデザインで大きな関心を集めているところがありました。今回のホール移転に伴い、多数の企業や共同出展者がスペースを拡張しました。出展者数は70ヵ国から総数1,616社を記録し、前年を上回りました。また、トッププレーヤーも含め、すでに多数の出展企業が2006年の見本市出展を計画に組み入れているとのことです。

今年のISMは広い通路とクリアなホールレイアウトにより、よりモダンなイメージとなりました。エントランスを二つ設けたことで、ホール全体を通して来場者の往来が多くなり、また来場者は効率よく最短ルートを取りながらスタンドを回っていました。

火曜日の午後には「パッケージコンセプト」というテーマで講演とパネルディスカッションが行われました。350人を超える参加者数を記録し、好評を博しました。講演の内容については事前に詳細な打ち合わせを行い、パッケージデザインのブランド化および消費分析など重要なトピックスを網羅したプログラムとなりました。貴重な講演を聴こうと、フロアは錚々たる業界関係者で埋め尽くされました。この講演は、ケルン・メッセが「クオリティーマーケット・メディア分析ラインゴールド研究所(所在地:ケルン)」および「ベルント&パートナー・パッケージングコンサルタント(所在地:ベルリン)」との協力のもと主催したものです。

さらに好評だったのが「スイート・アート・パッケージ」という特別展です。約500㎡のスペースにパッケージ関連企業28社が材料、製品およびデザインを展示しました。ISM出展企業の菓子メーカーを顧客とするパッケージ関連企業にとっては、この特別展は、様々な情報をその顧客に提供し、商談を行う重要なビジネスステージとなりました。パッケージ関連企業は期待以上のビジネスコンタクトを持てたと述べています。

今回、ケルン・メッセは2006年からISMの会期に合わせ、製菓業界のサプライヤー関連見本市「プロ・スイート」という新しい見本市を開催すると発表しました。出展企業とビジターはさらなる相乗効果が期待できると、この発表を一様に歓迎しました。ISMの出展企業は菓子を販売する機会を得るだけでなく、「プロ・スイート」が開催されることにより、製造の前段階である材料の調達や投資財の購入の機会を得ることになります。すでに「スイート・アート・パッケージ」の特別展に出展したパッケージ関連企業のみならず、他の関連企業からも「プロ・スイート」のコンセプトに大きな関心が示され、多数の企業がすでに参加意志を表明しています。

第1回「プロ・スイート」は2006年1月31日から2月3日まで開催され、そのうちの2日間はISMの会期と重なります。

また、第36回ISMの会期は2006年1月29日から2月1日まで、2005年同様イーストホールで開催されます。